

意見の概要及び意見に対する市の考え方（考慮した結果及びその理由）

	意見内容	意見に対する市の考え方（考慮した結果及びその理由）
1	<p>無計画な健康寿命の増進がむしろ自治体の医療費抑制には悪影響を及ぼすのは自明。生産年齢人口を過ぎた層に自治体が公金を投入し、納税をしない高齢者の健康を促進したら、日々通っている通院投薬の医療費負担が増えるだけで財政破綻に向かいます。健活ポイントなどの自治体負担の健康活動はむしろ生産年齢人口の早期発見に対して集中して行われるべきで、高齢者は自己責任の原則を旨とすべきです。また平日の昼間からわざわざ公共施設を使った時間の浪費に公金を使うべきではなく、シルバー人材センターや福岡都市圏に向けた近郊農業など、体を動かし生産人口に戻す形での高齢者健康増進を促すべきです。</p>	<p>日田市のスポーツ振興施策としましては、市民の運動やスポーツの実施は、高齢層だけでなく、すべての市民の健康寿命の延伸に深くつながるものと考えております。</p> <p>健康寿命の延伸は医療費の抑制につながるとともに、市民の全員を元気にし、生涯現役で働くことも可能となる取り組みであると考えておりますのでご理解をお願いします。</p> <p>その他、スポーツ振興施策以外における健康寿命の延伸や医療費抑制等につきましては、日田市の各分野の施策において、引き続き様々な取り組みを行ってまいります。</p>